

第2回

秋川高校跡地及び秋川高校跡地 周辺地区のまちづくりに向けた 有識者会議

令和5年 11月 20日（月）

次第

1. 前回の振り返り

2. 検討区域のポテンシャルについて

3. 土地利用構想について

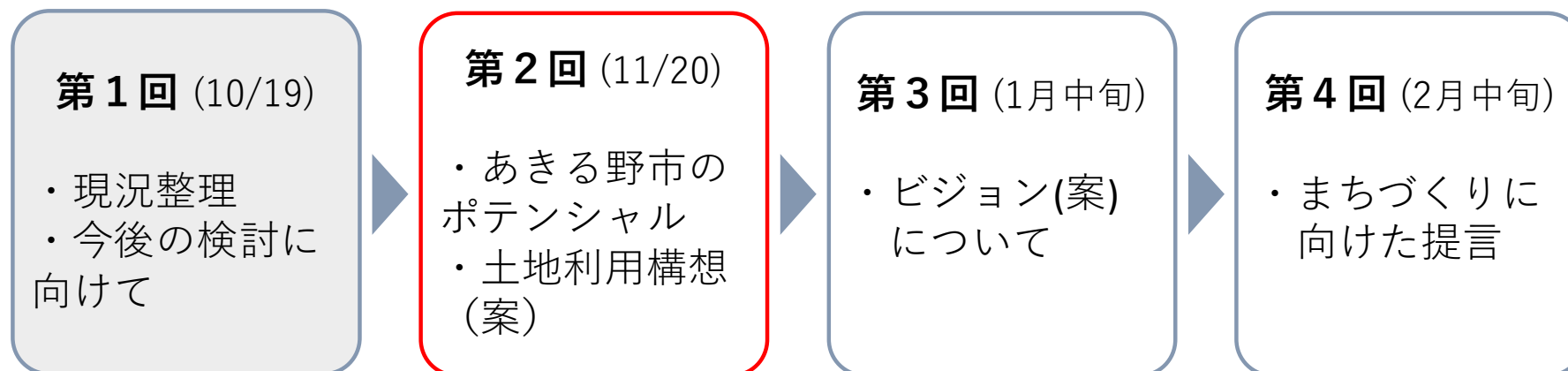
4. 意見交換

有識者会議メンバー・会議スケジュール

■委員（メンバー）

氏名	所属	職位
饗庭 伸	東京都立大学都市環境学部	教授
朝日 ちさと	東京都立大学都市環境学部	教授
遠藤 新	工学院大学建築学部	教授
下村 彰男	國學院大學観光まちづくり学部	教授
古屋 秀樹	東洋大学国際観光学部	教授

■スケジュール



1. 前回の振り返り

第1回有識者会議（10/19）で出された意見

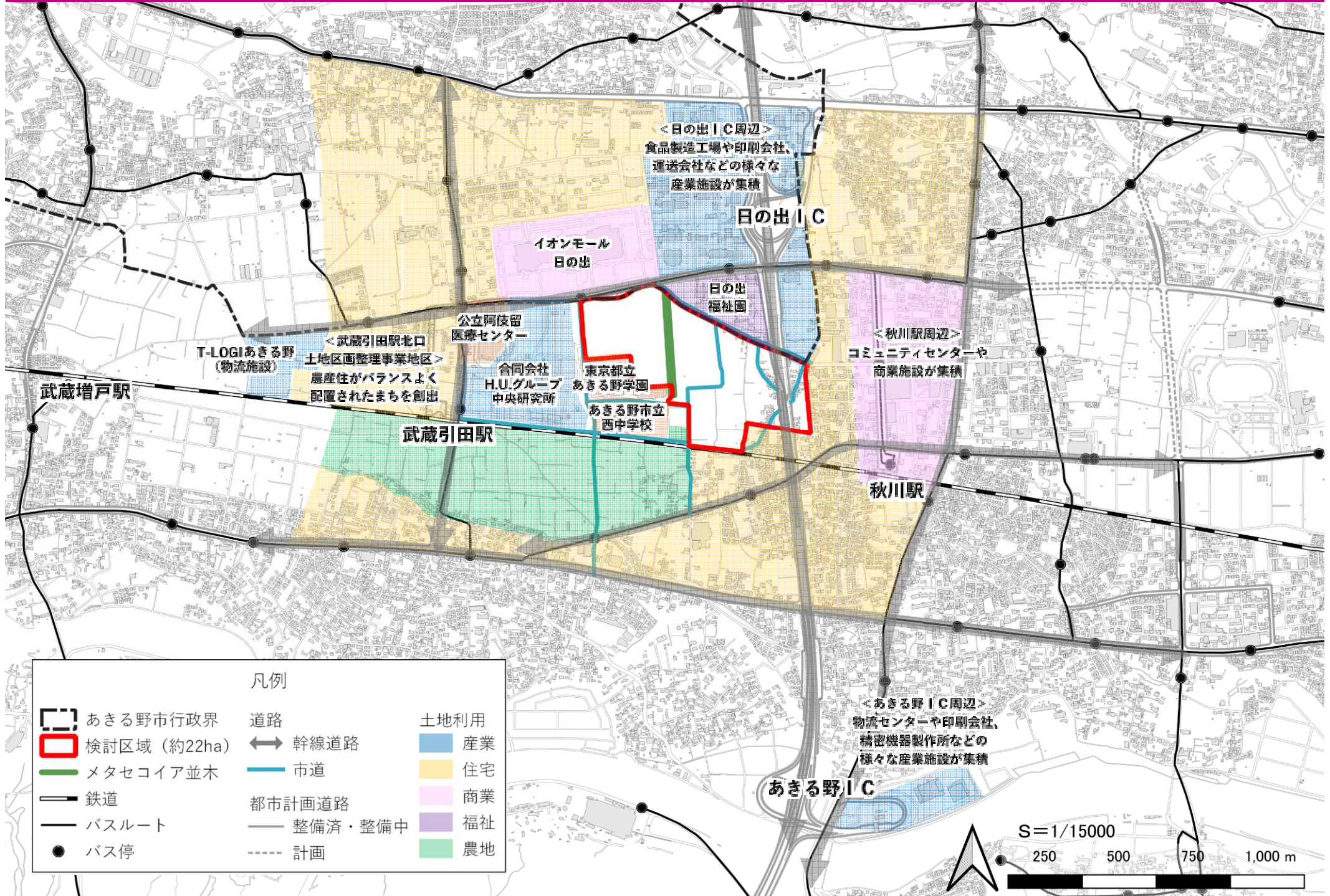
- 学びや居住の環境として優れていることから、農と調和・共生するまちづくりを目指してはどうか
- 小さな企業の複合的な誘致やIT系の企業を誘致し、あきる野の新しい暮らしのあり方（ライフスタイル）を発信できるような拠点にしてはどうか
- 土地利用の方向性は、ゾーニングを明確に決めるパターンや産業・文教・農業・住宅等をミックスさせるパターンがあるのではないか
- 交通・道路ネットワークは、自動車利用をメインとしたパターンや歩ける道の整備や新しいモビリティを導入するパターンがあるのではないか
- 地域内でお金をどのように回すかが重要な視点であり、地域内を回遊するマイクロツーリズムやウォークアブルが最近のトレンドとなっている

など

【第2回】

産業・住宅のトレンドやニーズの確認／土地利用構想について議論

2. 検討区域のポテンシャルについて



2. 検討区域のポテンシャルについて

検討区域のポテンシャルについて

住宅需要

- ・ 過去5年間で、検討区域周辺には新たな住宅が整備されている
 - ・ 「市内に住み続けたい」と考えている市民が多く、かつ住宅を住み替える場合には「自然に恵まれた環境」を望むニーズが近年高まっている
 - ・ 持ち家率が高く、今後住宅を住み替える場合、戸建住宅を選択する可能性が高い
- ⇒検討区域は秋川駅・武蔵引田駅から1km以内の徒歩圏域にあり、隣接に商業施設が立地し、かつ農地等の自然が多く残っていることから、今後も一定の住宅需要はあるものと考えられる
- ⇒コロナ後の生活様式の変化等から、職住近接の考え方やネイバーフッドコミュニティの形成、農と住の調和など、新たな居住ニーズへの対応が求められる

産業需要

- ・ 過去10年間で、IC周辺や武蔵引田駅周辺において工業立地が進んでいる
 - ・ 西多摩において企業の立地を検討している企業が多数ある
- ⇒検討区域は日の出ICから1km圏内にあり、広域交通利便性が高いことから、今後も一定の産業需要はあると考えられる
- ⇒物流の2040年問題を踏まえると今後の物流の動向は不透明。地域経済の循環に資する新たな産業の立地が求められる

3. 土地利用構想について

(1) 土地利用構想案について

《土地利用の目標》

(仮) 住・農・産・商・福・学の機能が融合する集約型複合拠点地域の形成

働きたくなる 産業拠点の形成

- ・豊かな自然環境や美しい景観の中で健康的に働ける環境づくり
- ・周辺の様々な施設と連携し、豊かな生活をサポートする地域に開かれた新しい産業拠点を形成
- ・鉄道駅や住宅地と近接し、働きやすい産業拠点を形成
- ・様々な分野の企業が集積することにより、新しいアイデア等が生まれ、クリエイティブな産業拠点を形成

暮らしたくなる 生活拠点の形成

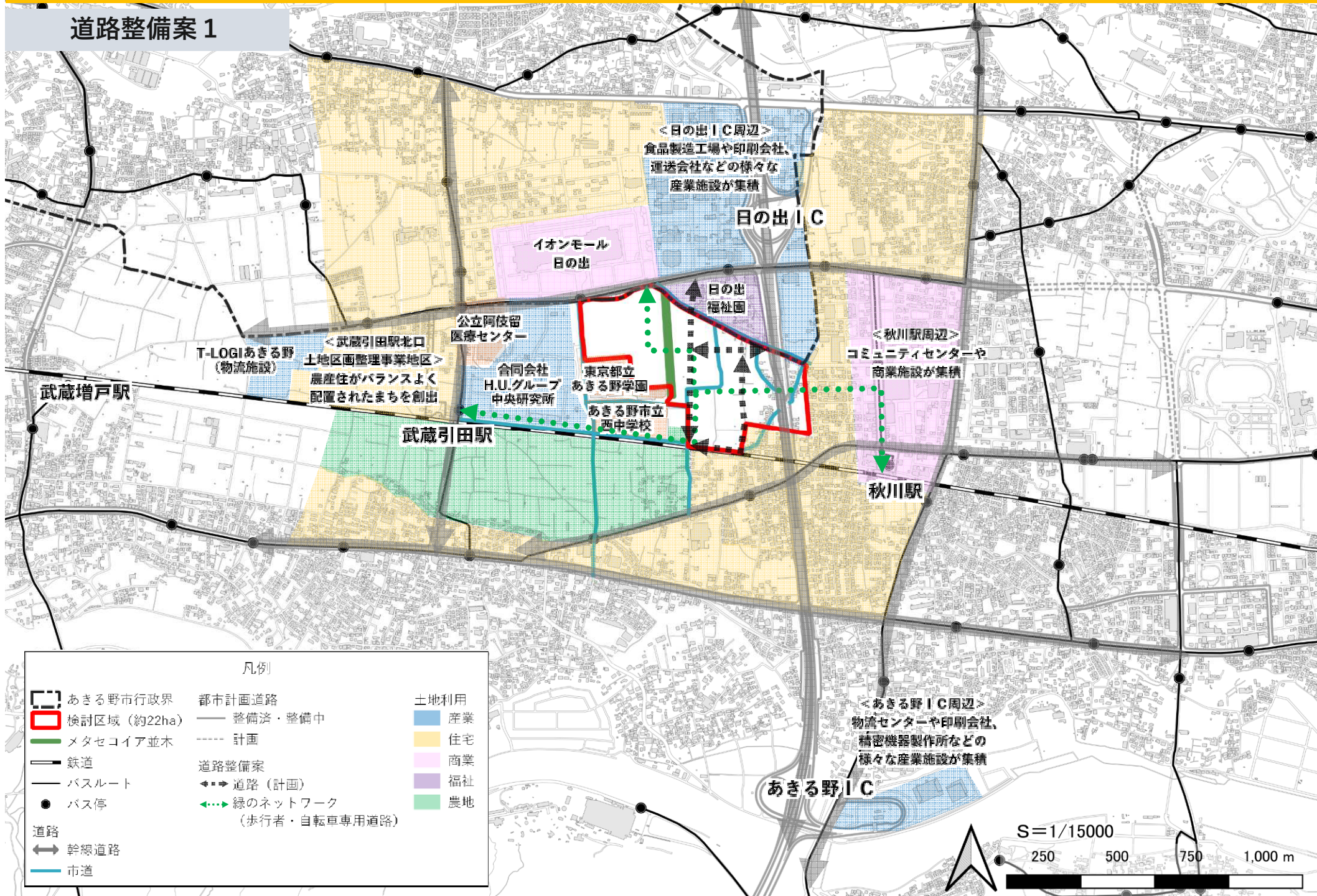
- ・地域に残る自然・農業環境に囲まれ、あきる野市らしい豊かな暮らしをおくることができるサステイナブルな環境づくり
- ・鉄道や福祉、学校、商業施設などが近接し生活利便性が高く、自然に交流が生まれる誰もが暮らしやすいインクルーシブな拠点を形成
- ・日常的な地域の活性化だけでなく、非常時にも役立つフェーズフリーな公園や企業が立地する、快適かつ安全・安心な住環境を創出

憩いたくなる 交流拠点の形成

- ・地域のシンボルであるメタセコイア並木を中心に、マルシェ等の様々なイベントを実施できる自然にあふれた公園・広場を整備
- ・産業や学校、福祉など様々な関係者の活動・交流の場となり、新たなコミュニティやイノベーションが生まれる交流拠点を形成
- ・秋川駅や武蔵引田駅から区内をつなぐ、緑のネットワーク（遊歩道・自転車道）の整備や小型シェアモビリティの導入により、まちの回遊性を高めるウォークラブルな空間の創出

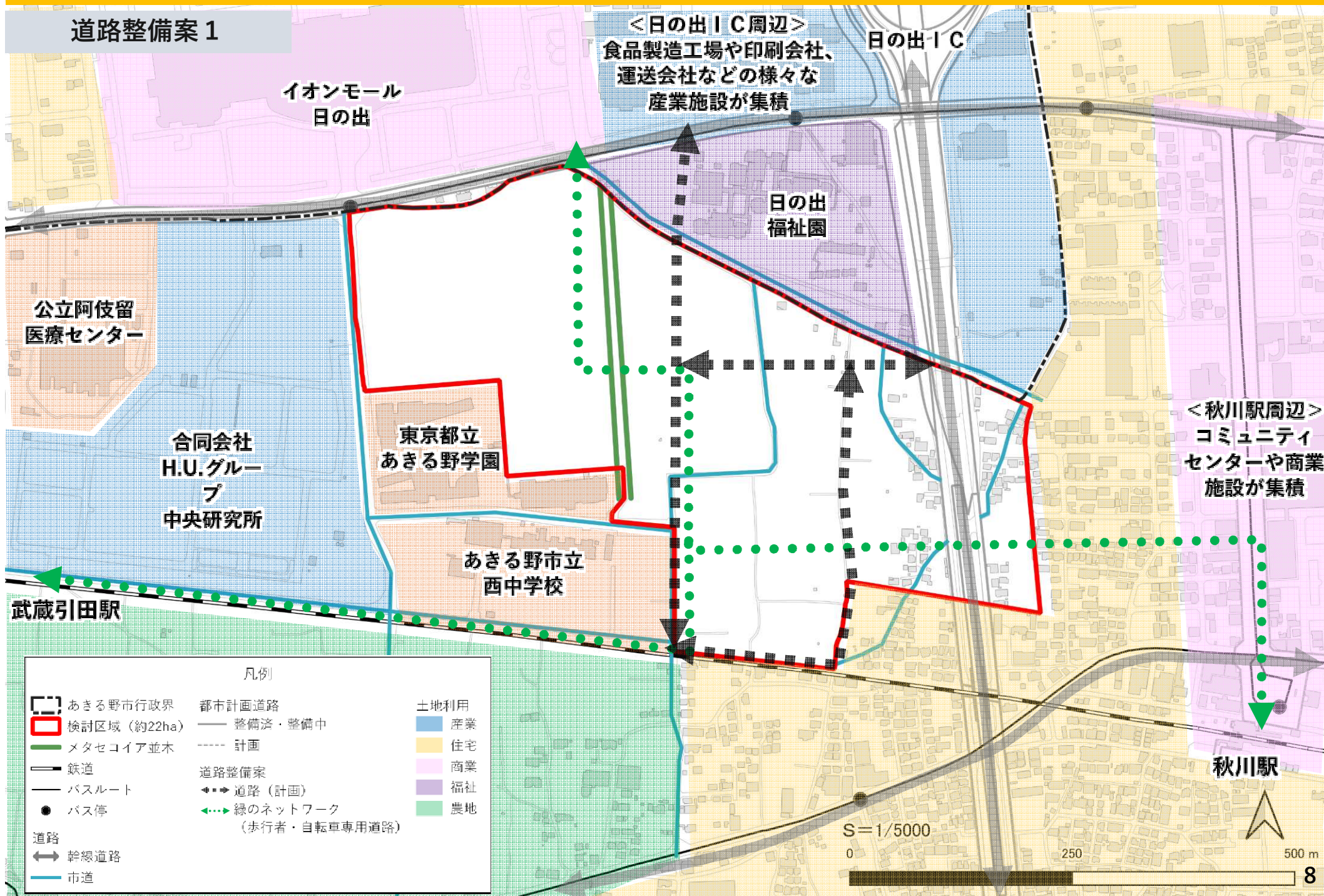
3. 土地利用構想について

道路整備案 1



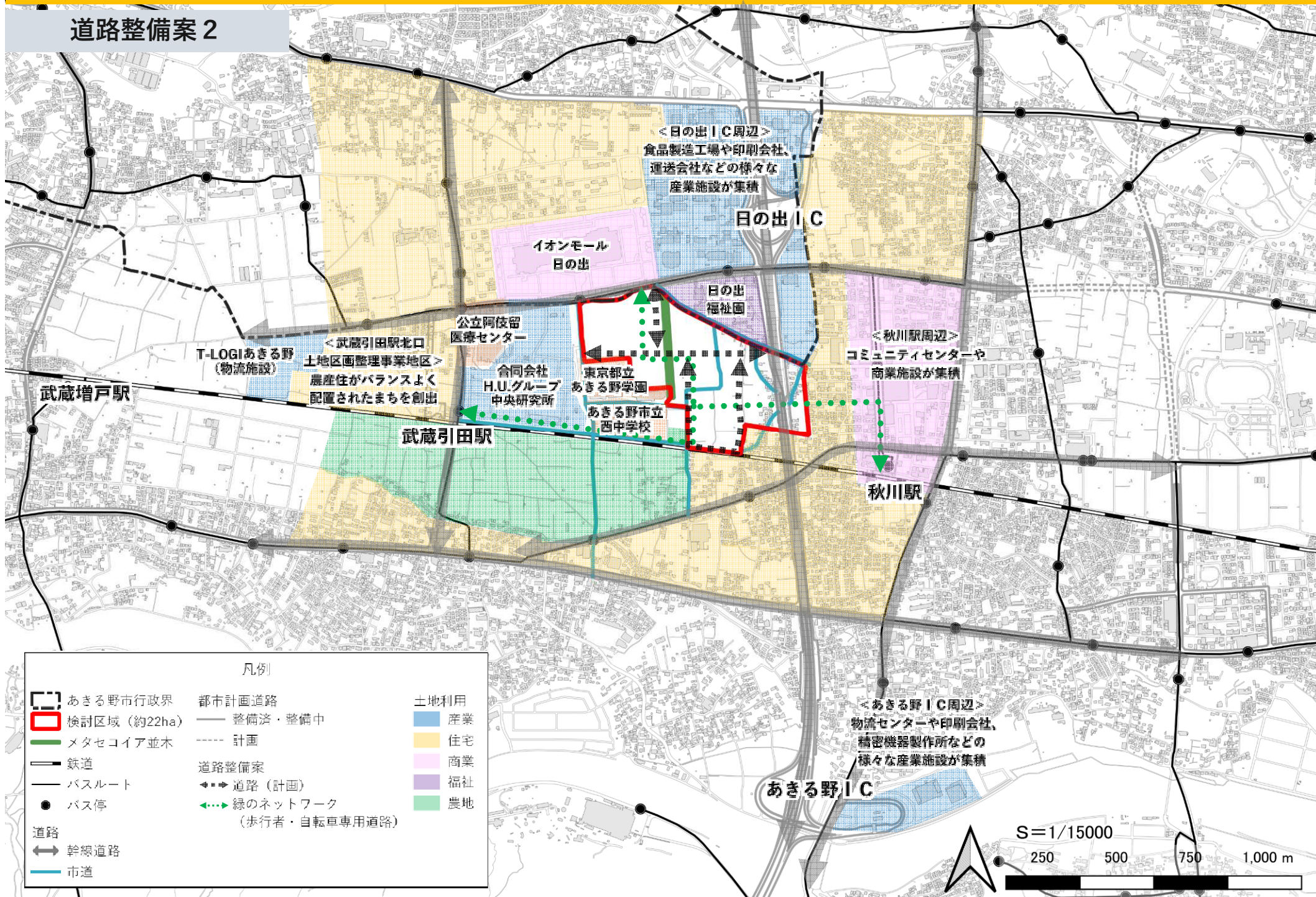
3. 土地利用構想について

道路整備案 1



3. 土地利用構想について

道路整備案 2

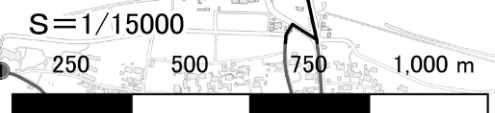


凡例

あきる野市行政界	都市計画道路	産業
検討区域 (約22ha)	整備済・整備中	住宅
メタセコイア並木	計画	商業
鉄道	道路整備案	福祉
バスルート	道路 (計画)	農地
バス停	緑のネットワーク	
	(歩行者・自転車専用道路)	

道路

- 幹線道路
- 市道



3. 土地利用構想について

道路整備案 2

